

2024年 流山市立おおぐろの森中学校 マネジメントポリシー

<基本理念>

- ◎おおぐろの森中プライド (pride : 誇り) が、
おおぐろの森中ブランド (brand : 独自性・信頼・価値) をつくります。

1 ミッション (使命感)

①経営理念

- ※人間力の向上を目指します。(社会に通用する、人間学の学び)
- ※生徒の主体的な学びを支えます。
- ※体力・忍耐力の向上をサポートします。

②知・徳・体 (三刀流) バランスのとれた教育を継承しつつ 新たなイメージ

山・頭・流 (さん・とう・りゅう) へ

激しく変化する社会の流

れに、
頭

や体を使って、夢の実現に向けて、
忍耐力と粘り強さを持って山 (課題) を乗り越えていく。

○生徒

3 H → Heart (心・人間力) Head (考える力) Health (健康・体力・忍耐力)

○教職員

3 C → チャレンジ (挑戦) コミュニケーション (意思疎通) コンプライアンス
(法令遵守) 社会規範、社会道德

③教育から学びの支援 (サポート) へ

ティーチ (teach) からコーチ (coach) へ

ティーチャー (teacher) からコーチャー (coacher) へ

ティーチング (teaching) からコーチング (coaching) へ

④変革を恐れず、改革していく学校 (学校は社会の縮図)

チャレンジ精神を大切にし、激しく変化する社会に対応できる学校を目指します。
「社会が変われば学校も変わる」を念頭におき、柔軟な対応を図ります。

判断基準は

- ・「生徒のためになるのか。」
- ・5割以上 (生徒、保護者、教職員) の賛同が得られるか。

2 ビジョン (構想)

①コンセプト

「ヒーリングスクール」

～自然と木造校舎の温もりの中で、癒やしの空間、安心感を与える学校～

- ・最新の技術・設備と自然との調和を目指します。
- ・誰もが居心地の良い場所であることを目指します。

②キャッチフレーズ

「夢を育むおおぐろ中」「夢を与えるおおぐろ中」

- ・生徒が将来やってみたい仕事やなりたい自分などの夢 (目標) を育てて成長させるためのサポートをします。
- ・また、世界に羽ばたき、他に夢を与えられる人間の育成をめざします。

③スローガン

- お・・・ 大きな夢を持ち（目標を持つ）
- お・・・ 穏やかに（豊かな心、広い心）
- ぐ・・・ グローバルな視点を持って（世界的視野、多様性の尊重）
- ろ・・・ 論理的思考で（筋道を立てて考える）

④ゴール（目標）

「自律」

～自ら考え、選択して行動できる生徒の育成～

『みんな違ってそれでいい（多様性の尊重）』

※自らの学習や生活の目標を設定でき、自ら考え、選択して学習や生活への価値や意義を見出し行動できる生徒をイメージしました。

⑤サブゴール

「自立」 「協働」 「貢献」

自立・・・自ら進んで行動する

協働・・・共に力を合わせて活動する

貢献・・・地域、社会、他の人のために力を尽くし、感謝することができる

3 バリュウ（行動指針）

～チーム学校から、ファミリー学校へ～

家族のような温かさをめざして

- ◎生徒のために、保護者・地域・学校職員が、同じベクトルに向かっていけば、みんなが幸せになれると考えます。
- ◎生徒、教職員ともに失敗をして学ぶことは大であると考えます。そのためには、失敗しても良い、失敗を許せる度量をそれぞれに持っていたいと願います。失敗を恐れているとチャレンジ精神が低下すると思っています。

①行動理念

○人間力の向上

※「人間力の向上なくして、学力の向上なし」・・・生徒

※「人間力の向上なくして、指導技術の進歩なし」・・・教職員

②生徒

○自ら考え行動する姿勢を学びます。

・学習、生活、自治活動をとおして自律を目指します。

・人間力を向上させるため、人間学を学びます。（プロフェッショナルに学ぶ等）

・心に火をつけ、意欲的に学習します。

・楽しく学びます。

○仲間を大切にします。

・人の心の痛みがわかります。

・協働して学習します。

・対話（コミュニケーション）力を身につけます。

○他に貢献することで自己肯定感、所属意識を高めます。

・他の人のために力を尽くすことに喜びを感じます。

○感謝の気持ちを大切にします。

・他を敬う心を常に持ち続けます。

・「ありがとう」の言葉を増やします

③管理職

- 生徒のためになるかを判断基準として学校全般のマネジメントに徹します。
 - ・幅広い視野をもってマネジメントに努めます。
- 生徒の自律性を第一に考えます。
 - ・とにかく生徒に考えさせます。(自治活動の推進)
- 保護者や地域、教職員の声を大切にします。
 - ・文句や苦情ではなくて、意見や提案をください。
- 教職員の人材育成に努めます。
 - ・プロ意識を醸成します。
 - ・人には優しく、仕事には厳しく。教職員の失敗は校長の責任です。
- 教職員の働き方改革を推進します。
 - ・自分の生活が守れなくて、なぜ人を導けるのか。ゆとりがなくては、いい仕事はできません。生徒と向き合う時間を捻出します。

④教職員

- 生徒と向き合うことを第一にします。
 - ・親身になって接します。
 - ・生徒が感動する活動を企画します。
- 自らの人間力の向上に努めます。
 - ・人間学、コミュニケーション力、幅広い教養、同僚性、礼儀、マナー、気配り
- 保護者とのコミュニケーションを大切にします。
 - ・人と人との会話、本音で語ることでできる関係を希望します。
- 指導技術の向上に努めます。
 - ・新しい教育方法にチャレンジします。
 - ・心の教育、人間教育に努めます。
 - ・生徒の心に火をつけ、やる気を育みます。
 - ・生徒に学ぶことの楽しさを育みます。
- 同僚性を大切にします。
 - ・助け合いを大切にします。
- 感謝の言葉を合い言葉にします。

⑤研究主題

『ICTを活用した教育の探求』
—個別支援、評価、校務との融合—
～1人1台端末の効果的な活用で、楽しく学び、学びをさらに豊かに～

※生徒一人ひとりの学習権の保障、誰一人取り残さないサポート体制を目指します。

※ハイブリッド教育の推進（対面とICTの融合）

⑥チャレンジしたい取り組み

- 人間学教育
 - ・中国古典（論語等）や偉人の名言等を全学年、教育に取り入れます。
 - ・「プロフェッショナルに学ぶ」民間人、一流人に学ぶ機会を設定します。
 - ・学級図書に人間学を学ぶ本（雑誌）を配架します。
 - ・生徒の心に火をつける行事（ミュージックアウトリーチ）を計画します。
- 読書活動を推進します。
 - ・読書量を増やす取り組みを行います。
- 自律、自治活動の醸成
 - ・校則を撤廃します。
 - ・TPOを考えた立ち振る舞いを醸成します。
- ゆとりのある生活
 - ・部活動の朝練習は行いません。(睡眠時間、朝食時間の確保)
- 人の心の痛みや多様性を感じることでできる学習
 - ・被災（震災、津波、戦争）された人や地域への校外学習や宿泊行事の実施
 - ・多様性を深める宿泊行事等の実施